

阿久根市水道事業経営戦略

令和 3 年 3 月
阿久根市水道課

目 次

| | | |
|-----|---------------------|----|
| 1 | 事業概要 | |
| (1) | 事業の現況 | 1 |
| (2) | これまでの主な経営健全化の取組 | 2 |
| (3) | 経営比較分析表等を活用した現状分析 | 3 |
| 2 | 将来の事業環境 | |
| (1) | 給水人口の予測 | 7 |
| (2) | 水需要の予測 | 8 |
| (3) | 料金収入の見通し | 9 |
| (4) | 組織の見通し | 10 |
| 3 | 経営の基本方針 | 11 |
| 4 | 投資・財政計画 | 12 |
| 5 | 経営戦略の事後検証・改定等に関する事項 | 15 |
| 別紙 | 財政収支計画 | 16 |

阿久根市水道事業経営戦略

団 体 名：鹿児島県阿久根市

事 業 名：阿久根市水道事業

策 定 日：令和 3 年 3 月

計画期間：令和 3 年度～令和 1 2 年度

1. 事業概要

(1)事業の現況

①給水

| | | | |
|---------------------|-------------|--------|----------------------------|
| 供用開始年月日 | 昭和 27 年 7 月 | 計画給水人口 | 19,900 人 |
| 法適(全部・財務) ・非適の区分 | 全部適用 | 現在給水人口 | 19,856 人 |
| | | 有収水量密度 | 0.002 千 m ³ /ha |

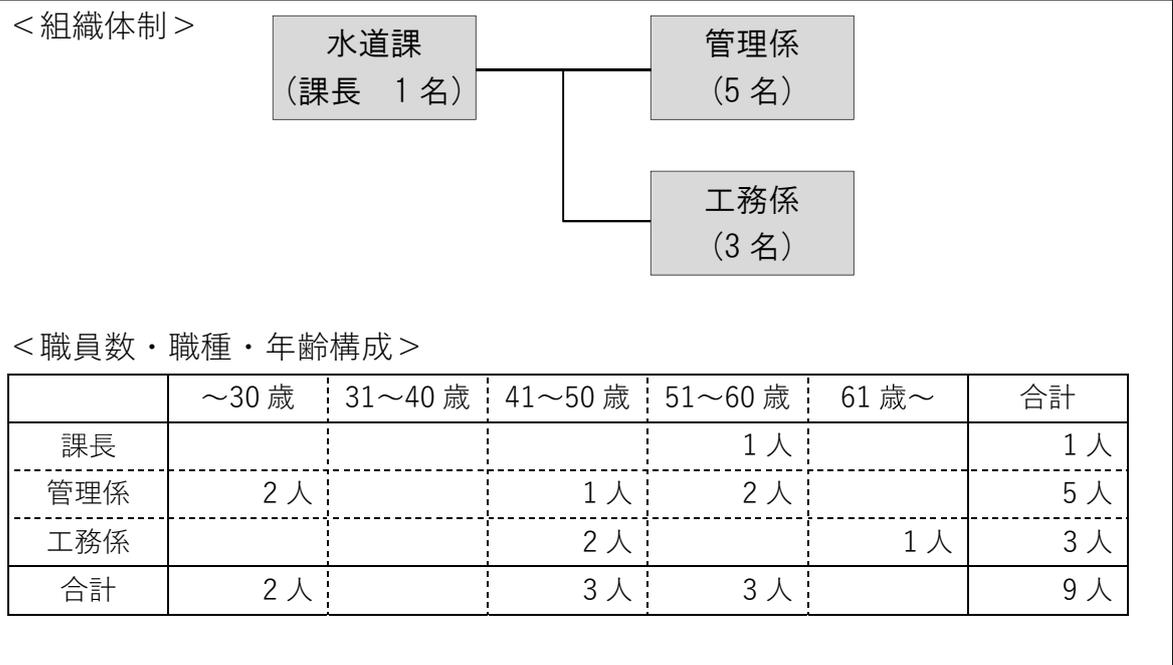
②施設

| | | | |
|------|----------------------------------|----|-----------------|
| 水源 | ■表流水, □ダム, □伏流水, ■地下水, □受水, □その他 | | |
| 施設数 | 浄水場設置数 | 19 | 管路延長 348 千 m |
| | 配水池設置数 | 32 | |
| 施設能力 | 13,731m ³ /日 | | 施設利用率 70% |

③料金

| | | | | |
|-----------------|--|----------|---------------------|---------------------|
| 料金体系の 概要・考え方 | 地方公営企業法第 21 条に基づく総括原価方式 | | | |
| | 基本料金 | | 従量料金 | |
| | 口径 | 1 か月につき | 使用水量 | 1m ³ につき |
| | 13 mm | 700 円 | 1～10m ³ | 70 円 |
| | 20 mm | 1,100 円 | 11～20m ³ | 100 円 |
| | 25 mm | 1,400 円 | 21m ³ ～ | 140 円 |
| | 40 mm | 3,500 円 | | |
| | 50 mm | 7,000 円 | | |
| | 75 mm | 11,200 円 | | |
| | 100 mm | 15,000 円 | | |
| | ※資産維持費は加味していない。 | | | |
| 料金改定年月日 | 平成 10 年 4 月 1 日(現行料金体系) (旧簡易水道料金水準統一 平成 30 年 7 月) | | | |

④組織



(2)これまでの主な経営健全化の取組

1) 旧簡易水道施設の整備

水道事業の統合推進の一環とした国の支援もあり、旧簡易水道事業に対し平成17年度から令和元年度までの15年間、40億円を超える投資を行い整備してきた。これにより、財政負担を抑制した上で、老朽化施設の更新に取り組んできた。



2) 旧簡易水道料金の統一

水道事業の統合に先立ち、これまで別々であった旧簡易水道事業の水道料金を上水道事業の水道料金と統一した。



平成30年7月から
簡易水道地区の水道料金を見直し
上水道と同じ基本料金と従量料金になります

問 水道課 ☎0996-73-1102

【現行の1カ月の水道料金表】 ※消費税などを含まない

| 用途 | メータ口径 | 基本料金 | 従量料金 |
|-----|-------|--------|--------------|
| 一般用 | 13mm | 800円 | 1mにつき 60円 |
| | 20mm | 1,100円 | |
| | 25mm | 1,400円 | |
| | 40mm | 1,700円 | |
| | 50mm | 3,500円 | |

【見直し後の1カ月の水道料金表】 ※消費税などを含まない

| 用途 | メータ口径 | 基本料金 | 従量料金 | |
|-----|-------|--------|----------------|------|
| | | | 水量 | 金額 |
| 一般用 | 13mm | 700円 | 1mから 10mまで | 70円 |
| | 20mm | 1,100円 | 1mにつき | |
| | 25mm | 1,400円 | 11mから 20mまで | 100円 |
| | 40mm | 3,500円 | 1mにつき | |
| | 50mm | 7,000円 | 21m以上 1mにつき | 140円 |

～ 改定後料金の消費税を含む算出方法 ～

【例】

メータ口径13mmの方が、1カ月で15m使用した場合

- ① (基本料金) 700円
- ② (従量料金 1～10m分) 70円×10m= 700円
- ③ (従量料金 11～20m分) 100円×5m= 500円
- ①+②+③= 1,900円 (消費税8%) 152円

合計 2,052円

水道料金請求額 2,050円

※ 請求時の金額に10円未満の端数が生じた場合は切り捨てます。

使用した15mを範囲に分けて計算します

参考 1カ月に15m使用した場合の
現行・見直し後の水道料金比較表 ※消費税を含む

| メータ口径 | 現行料金 | 改定料金 | 差額 |
|-------|--------|--------|--------|
| 13mm | 1,830円 | 2,050円 | 220円 |
| 20mm | 2,160円 | 2,480円 | 320円 |
| 25mm | 2,480円 | 2,800円 | 320円 |
| 40mm | 2,800円 | 5,070円 | 2,270円 |
| 50mm | 4,750円 | 8,850円 | 4,100円 |

3) 基幹施設の統廃合

水道施設の更新時期が迫るなか、アセットマネジメントにおいて、耐震化・長寿命化を含めた検討を行い、水道施設の統廃合により、トータルコストでの経費削減に取り組んでいる。

現在、第10配水池(桜ヶ丘)の整備による、将来的な統廃合の準備段階であり、より効率的な施設運営に努める。



4) 水道事業の統合

国の方針に基づき、令和2年4月1日に旧簡易水道を上水道事業として統合し、経営基盤の強化を図ってきた。

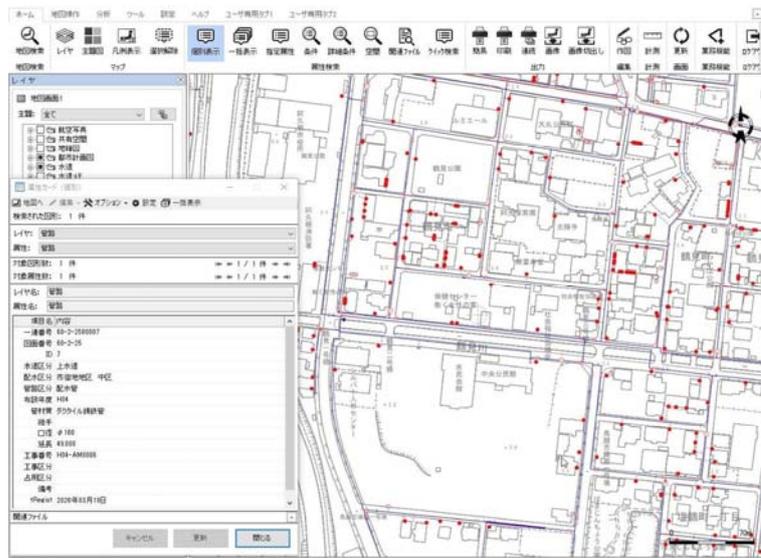
5) 水道事業運営委員会の設置

多くの課題を抱える水道事業の運営に関する項目について、調査・審議を行うため、水道事業に対する運営委員会を設置し、効率的な運営、健全な経営に努めている。



6) 水道施設管理の効率化

多くの水道施設を総合的に管理するため、管路台帳及び施設台帳の整備により水道施設の全体像を把握し、施設管理の効率化を図った。



7) 災害対策を視野に入れた給水車の導入

災害時において、市民への応急給水が円滑となるよう給水車を導入した。災害時の給水車による本市内の給水確保に加え、他自治体への派遣要請等にも対応可能となり、県内外における支援・連携体制の強化を図った。



(3)経営比較分析表等を活用した現状分析

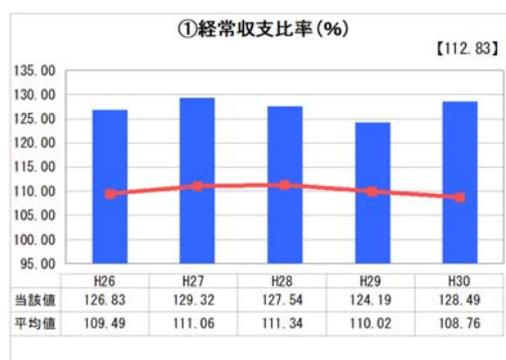
令和元年度までは、公営企業法を適用した上水道事業及び公営企業法を適用しない簡易水道事業にて運営してきた。令和2年度は、水道事業の統合に伴い簡易水道事業を含めた上水道事業として、初めての水道事業決算となる。

このため、現在整理されている経営比較分析表のうち、平成30年度決算分の資料として、旧上水道事業(表-1)、旧簡易水道事業(表-2)における分析表をそれぞれ参照する。(グラフ内【】値は全国平均を示す)

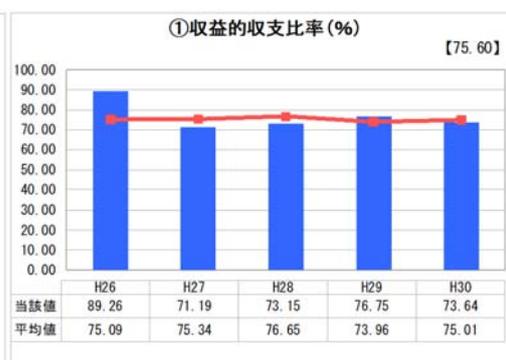
1) 収支の状況(旧上水：①経常収支比率 旧簡水：①収益的収支比率)

旧上水については黒字、旧簡水については大幅な赤字となっているものの、水道料金の統一により、現時点では改善されている。しかしながら、事業統合後の収支については十分な状況とは言えないため、料金回収率を含めて、経常収支比率100%以上を最低ラインとして継続した改善策を講じる。

旧上水道事業



旧簡易水道事業



2) 企業債残高対給水収益比率

旧上水については、給水収益に対する企業債残高が少なく、旧簡水については給水収益に対する企業債残高が多い。これまで簡易水道事業に重点的に投資してきた結果となっているため、旧上水に対しても今後適切な投資を実施していく。



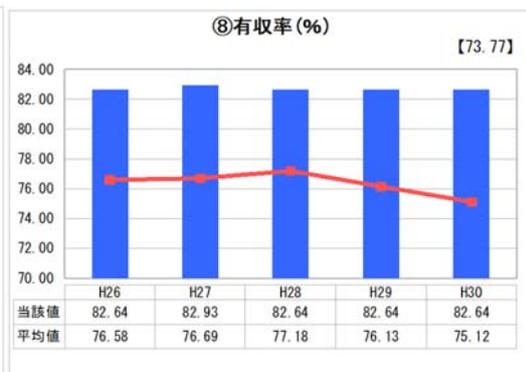
3) 有収率

旧上水と比べ、旧簡水は近年国庫補助を活用し、重点的に整備を実施したため、有収率としては良好である。旧上水については、市街地などの布設環境から管路更新の難易度が高いうえ、大口径や布設延長が長いことなどを背景に、適切な更新が満足にできていないのが現状である。このため、旧上水についてより重点的な管路更新を実施し、有収率を改善する必要がある。

旧上水道事業



旧簡易水道事業



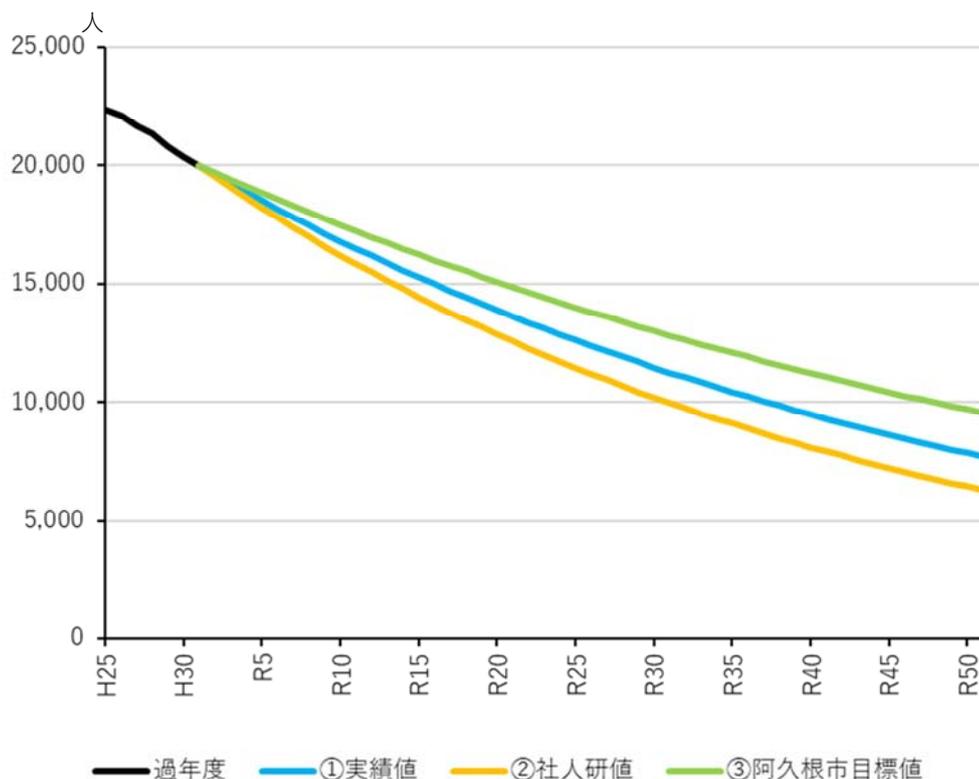
2. 将来の事業環境

(1)給水人口の予測

過去の実績を基にした予測値，社会保障人口問題研究所にて予想された値を参考に補正した予測値，本市人口ビジョンにより目標としている予測値の3ケースにて行政区域内人口を予測する。

給水人口については，採用した行政区域内人口と普及率により算定した。

いずれの値も減少傾向にあるものの，より現実的な値となるよう予測値の中位にあたる「実績値」の行政区域内人口予測値にて収支予測を行う。



将来的にも人口減少は避けられないと見込まれるものの，阿久根市の総合的な取組みとして，人口減少が抑制されるよう，市としての方策も併せて取り組む。

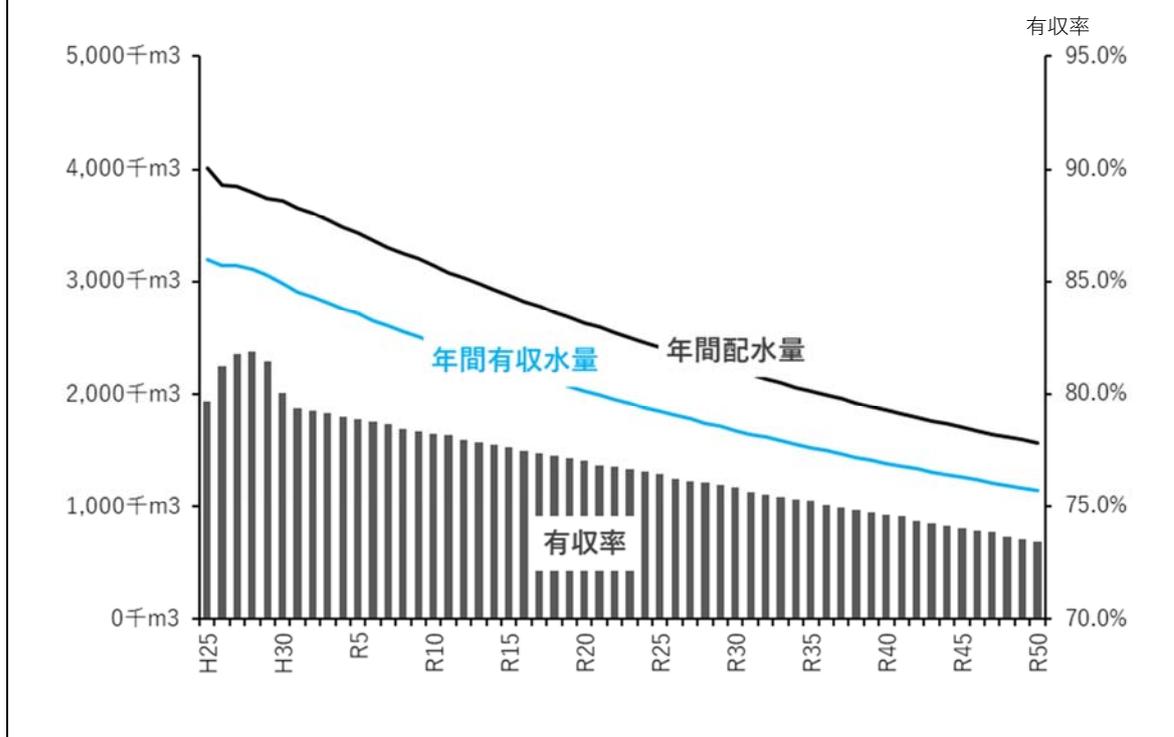
(2)水需要の予測

給水人口の減少に対して、有収水量も同様に減少傾向にある。しかしながら、給水人口1人当りの使用水量は増加しており、一般家庭の使用水量の減少に対して、地元企業の使用水量がほぼ一定に保たれているためと想定される。

また、ペットボトルによる飲用水の確保や、節水意識の高まりに伴う家庭における使用水量の減少についての影響は、ほぼ終息していると想定する。

一方、有収率については、限られた財源による運用となるため、十分な更新投資の確保が期待できない中で、今後段階的な投資額を増加させることを念頭に置いても、現時点では一定程度減少傾向となることが予測される。

このため、給水人口一人当たりの使用水量は今後一定の水準にて推移し、給水人口の減少に併せて、水需要(有収水量)も減少することが想定される。



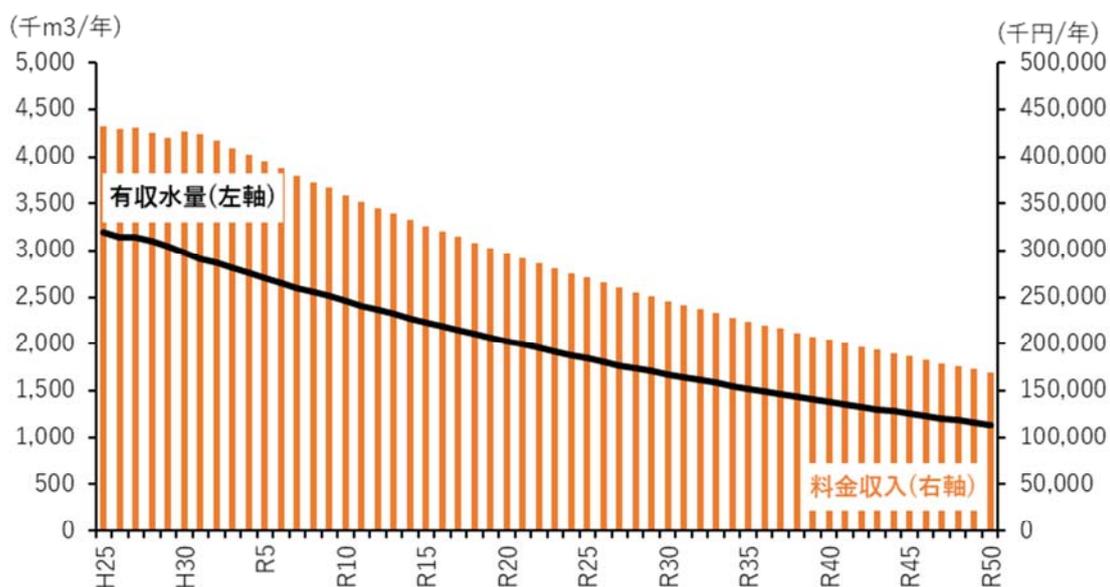
$$\text{有収率 (\%)} = \frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間配水量}} \times 100$$

(3)料金収入の見通し

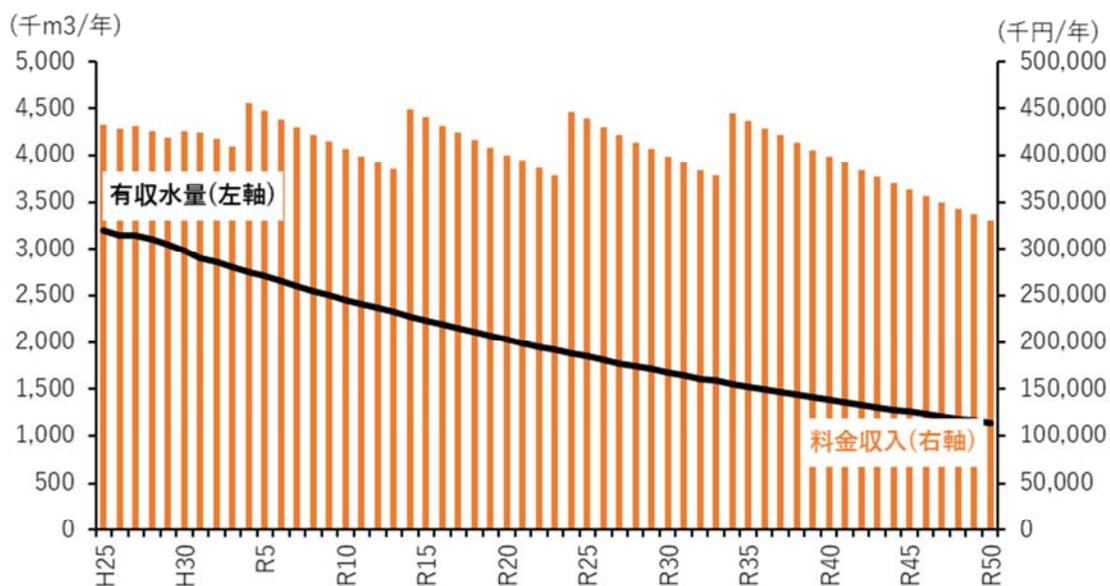
人口減少に伴い料金収入も減少することが想定される。

現在、4億円程度の料金収入を確保しているが、現在の料金水準を維持した場合には、下表に示す通り、10年あたり20%弱の料金収入が減少することが想定され、金額で6千万円程度減少する。つまり年間600万円ほどの料金収入が減少するため、料金水準の見直しや料金以外の収入の確保について検討する必要がある。

【料金水準を維持した場合】



【定期的な料金水準の見直しを行った場合】



(4)組織の見通し

自治体における人事規定に基づくため、水道事業職員のみ的人员確保等は見込めないものの、災害などに対する人員確保も含め、現在の組織体制を維持する。

ただし、増加する更新需要や老朽化に対応するため、技術力の低下防止の観点から、水道課職員の退職時には、職員教育も含めた技術力向上を視野に、広域連携を主体とした職員間の技術交流や再雇用など、ソフト面での対策を検討することで、技術力の低下を抑制する。

また、人員不足に起因する水道サービスの低下が生じることの無いよう、水道業務の外部委託等も視野に検討を継続する。

3. 経営の基本方針

阿久根市水道事業においては、自然も人もみな笑顔になれる水道を目指し、また、人や自然に支えられている水道を、自信を持って未来へ引き継ぐために、「自然と人と水道と 笑顔で託そう未来の阿久根」を基本理念として掲げる。

そして、安全な水道，強靱な水道，水道サービスの持続の3つの観点から，水道事業の理想像を具体的に示し，これに向けた目標達成を目指す。

【基本理念】

しぜん ひと すいどう えがお たく みらい あくね
自然と人と水道と 笑顔で託そう未来の阿久根

基本方針

安全

【安全な水道水の供給】

全ての市民が、いつでもどこでも、水をおいしく飲める水道

強靱

【強靱な水道システムの構築】

自然災害等による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道

持続

【戦略的な水道事業の経営】

給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道

4. 投資・財政計画

(1)投資・財政計画：別紙のとおり

(2)投資・財政計画の策定に当たっての説明

①収支計画のうち投資についての説明

| | |
|---|-------------------|
| 目標 | 適切な施設更新の実施と経営負担低減 |
| <ul style="list-style-type: none">●長寿命化対策の実施 老朽化施設の補修・補強及び点検調査の計画的な実施により、法定耐用年数の1.5倍を目標とする。このために必要となる長寿命化対策を目的とした、継続的な投資を行い、長期的な視点にたち、経営負担の低減を図る。●更新需要の低減 上水道事業において累積した、15億円を超える更新需要を、長寿命化対策と適正な更新投資により、今後10年以内に2億円以下へ低減するよう努める。 | |

| | |
|--|------------|
| 目標 | 管路更新整備の適正化 |
| <ul style="list-style-type: none">●上水道事業における管路更新率を1.0%へ向上 本市上水道事業における管路更新率は、類似事業団体における平均値0.89%に対して、0.21%と低い水準となっている。この場合、すべて更新するのに400年以上を要する計算となる。このため、当面の目標として管路更新率1.0%を目指し、事業管理や地元企業への負担が生じないように、管路更新投資の段階的な増加を図る。●管路更新計画の策定 今後すべての老朽管路を短期間で更新するには、財政的にも技術的にも困難であるため、より効率的な管路更新を実施するため、管路更新計画を策定し、これに併せた耐震化及びダウンサイジング等を実施することで、より効率的な管路更新の実施に努める。 | |

②収支計画のうち財源についての説明

| | |
|--|---------|
| 目標 | 経常収支の安定 |
| <ul style="list-style-type: none">●積極的な国庫補助金・交付金の活用による財源確保 これまで、簡易水道事業においては積極的な国庫補助金等の導入を行うことで、財源の確保を図ってきた。しかしながら、上水道事業においては補助金等の条件が厳しく、補助対象要件とするには多くの課題があるものの、財源確保の面においては大きな支援となることが期待される。 このため、可能な条件の範囲で積極的に国庫補助金・交付金を活用し、水道施設整備に関する財源確保に努める。●水道料金の適正化について定期的な検討の継続 | |

人口減少や老朽化の進行など、多くの課題を抱えつつ健全な水道施設を維持していくためには、財源の確保が困難な状況となっている。

このため、アセットマネジメント手法などの取組みを継続して行いつつ、中長期的な将来を見越した上で、阿久根市民が安心して水道を利用できるような適正な料金水準・料金体系についての検討を行っていく。

③収支計画のうち投資以外の経費についての説明

●電力自由化に伴う動力費の削減を検討

積極的に、電力自由化に伴う入札実施や契約先の選定を実施するため、その導入可能性について検討する。

●省エネルギー機器の導入

ポンプ等の動力設備における更新時には、省エネルギー機器を導入することで、動力費の削減を図る。

●給水検針など外部委託費用の低減策の検討

現在、給水検針や施設管理など、人件費抑制を目的として外部委託を行っている。これらの委託費用は、毎年度費用が発生するため、より効率的かつ低コストな外部委託の実施が可能となるよう、委託内容及び手法を再検討し、コスト縮減に努める。

(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

①投資の合理化，費用の見直しについての検討状況等

| | |
|--------------------|---|
| 広域化 | 積極的な広域化について、全国で推進されているところである。本市においても、広域連携に関する協議会に参加し、鹿児島県主導で、広域化を含めた協力体制について検討を継続しているところである。 |
| 民間の資金 ・ノウハウ等の活用 | 施設の維持管理や修繕等において、地元企業の協力もあって適正に対応しているところである。 しかしながら、今後増加する見込みの更新事業に対応するため、現在の職員数での対応は困難となることが想定される。職員数の増加を抑制しつつ、適正な更新事業を実施するための手法として、DB方式や施工監理委託なども含め検討を継続する。 |
| アセットマネジメント の充実 | 本市においては、平成29年度にアセットマネジメントによる試算を行っている。今後、試算結果をより充実させ、アセットマネジメント手法としての一連の流れを取り入れるため、継続した学習やシステム導入に努める。 |

| | |
|-----------------|---|
| 施設・設備の 廃止・統合 | 施設の統廃合における主な事業としては、第10配水池(桜ヶ丘)の整備が進行中となっている。これは、老朽施設の廃止も含めた長期計画となるため、計画に準じた事業の早期完成に努める。 |
| 施設・設備の合理化 | 管路を含めた水道施設の更新時には、適正な規模・口径及び仕様となるよう、更新内容を再度検討しつつ、適正な時期に更新を行う。 |

②財源についての検討状況等

| | |
|-------------------------|---|
| 料金 | 投資の効率化及び費用の縮減を推進した上で、適正な料金水準について定期的に検討を行う。また、投資・財政計画については、令和5年度に15%程度の水道料金の増額改定を試算しているが、今後の決算状況を踏まえ、現在は、水道事業運営委員会において、適正な料金水準について検討を継続している。 |
| 企業債 | 企業債は、投資負担における世代間の公平性を確保する目的もあるため、今後の人口減少に伴う財源不足も踏まえ、適正な水準となるよう管理していく。 |
| 繰入金 | 定められた方式により水道料金を算定し、なおその経営に伴う収入をもって充てることが困難な場合には、総務省通知「地方公営企業繰出金について」による基準を踏まえ、適正な繰入金について関係各課と協議を継続する。 |
| 資産の有効活用等による 収入増加の取組み | 本市は、山地が多く起伏に富んだ地形における水道事業であるため、小水力発電や太陽光発電により、水道事業のもつ特性を活用した収入増加の取組みについて検討を行う。 また、統廃合により廃止された水道施設については、早急な取壊し等に伴い発生した水道用地残地の売却を実施し、収入化を図る。 |

5. 経営戦略の事後検証・改定等に関する事項

| | |
|---------------------------------|--|
| <p>経営戦略の事後検証, 改定等に関する事項</p> | <p>常に変化する社会環境に対応するため、経営戦略の成果の検証、評価及び見直しを定期的に行う必要がある。このため、5年程度ごとに改定を行うこととする。また、水道事業の基本方針として、「阿久根市新水道ビジョン」についても同様に策定している。</p> <p>より明確な水道事業の方向性を示せるよう、経営戦略の次期改定時には、水道ビジョンとの統合も踏まえて検討し、より効果的な目標達成を目指す。</p> |
|---------------------------------|--|

別紙

財政収支計画

| | | 実績値 | | | | | | 予測値 | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|
| | | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | |
| | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | |
| 有収水量(m3/年) | | 3,195,321 | 3,143,138 | 3,145,804 | 3,107,949 | 3,051,454 | 2,977,589 | 2,905,682 | 2,865,498 | 2,810,726 | 2,757,002 | 2,711,734 | 2,652,696 | 2,602,114 | 2,552,430 | 2,510,654 | 2,456,056 | 2,409,215 | 2,363,273 | |
| 収益的収入 | 水道料金 | 432,637 | 428,889 | 431,061 | 425,820 | 419,561 | 426,332 | 424,445 | 417,427 | 409,557 | 401,858 | 425,313 | 416,467 | 408,648 | 400,988 | 394,252 | 386,061 | 378,822 | 371,715 | |
| | 給水負担金 | 3,805 | 3,386 | 3,649 | 2,532 | 2,692 | 5,082 | 3,785 | 3,190 | 3,132 | 3,076 | 3,021 | 2,967 | 2,914 | 2,862 | 2,811 | 2,760 | 2,711 | 2,662 | |
| | 他会計負担 | 1,924 | 1,619 | 1,429 | 1,364 | 1,557 | 1,337 | 1,317 | 1,300 | 1,300 | 1,300 | 1,300 | 1,300 | 1,300 | 1,300 | 1,300 | 1,300 | 1,300 | 1,300 | |
| | その他営業収益 | 912 | 891 | 822 | 809 | 870 | 819 | 752 | 800 | 800 | 800 | 800 | 800 | 800 | 800 | 800 | 800 | 800 | 800 | |
| | 他会計補助金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 74,484 | 72,872 | 71,781 | 71,887 | 65,614 | 66,930 | 51,396 | 42,361 | 42,307 | 42,260 | 42,214 | |
| | 長期前受金戻入 | 0 | 10,429 | 9,706 | 9,645 | 9,286 | 9,101 | 8,962 | 42,130 | 36,680 | 36,353 | 35,921 | 35,448 | 35,207 | 34,895 | 34,395 | 33,538 | 32,702 | 32,390 | |
| | その他収益 | 44,631 | 27,999 | 15,631 | 8,246 | 12,907 | 3,443 | 2,775 | 3,100 | 3,100 | 3,100 | 3,100 | 3,100 | 3,100 | 3,100 | 3,100 | 3,100 | 3,100 | 3,100 | |
| | 計 | 483,908 | 473,213 | 462,299 | 448,414 | 446,872 | 446,114 | 442,035 | 542,431 | 527,441 | 518,268 | 541,342 | 525,696 | 518,899 | 495,341 | 479,019 | 469,866 | 461,695 | 454,181 | |
| | 収益的支出 | 人件費等 | 65,025 | 60,785 | 62,108 | 61,636 | 66,083 | 61,278 | 58,050 | 55,384 | 55,384 | 55,384 | 55,384 | 55,384 | 55,384 | 55,384 | 55,384 | 55,384 | 55,384 | 55,384 |
| | | 動力費 | 38,609 | 39,600 | 36,655 | 33,953 | 36,534 | 39,047 | 36,976 | 36,903 | 36,625 | 36,395 | 36,220 | 35,849 | 35,581 | 35,359 | 35,191 | 34,832 | 34,572 | 34,357 |
| 薬品費 | | 1,293 | 1,685 | 1,548 | 1,734 | 1,557 | 1,432 | 1,572 | 1,591 | 1,602 | 1,615 | 1,631 | 1,637 | 1,648 | 1,662 | 1,678 | 1,685 | 1,696 | 1,710 | |
| 修繕費 | | 20,401 | 15,616 | 16,558 | 16,690 | 16,183 | 22,446 | 16,995 | 18,823 | 18,914 | 19,096 | 19,187 | 19,278 | 19,369 | 19,551 | 19,641 | 19,732 | 19,823 | 20,005 | |
| 委託料 | | 50,972 | 52,471 | 47,074 | 71,619 | 78,098 | 52,911 | 77,439 | 62,000 | 62,000 | 62,000 | 62,000 | 62,000 | 62,000 | 62,000 | 62,000 | 62,000 | 62,000 | 62,000 | |
| 減価償却費 | | 130,219 | 131,198 | 130,687 | 124,177 | 123,588 | 121,185 | 121,416 | 226,065 | 231,996 | 230,524 | 231,557 | 232,669 | 234,939 | 230,782 | 232,622 | 230,876 | 230,506 | 232,225 | |
| (内 上水分) | | 130,219 | 131,198 | 130,687 | 124,177 | 123,588 | 121,185 | 121,416 | 221,565 | 222,996 | 217,024 | 213,557 | 210,169 | 207,939 | 199,282 | 196,622 | 190,376 | 185,506 | 182,725 | |
| (内 簡水分) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (内 新規分) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,500 | 9,000 | 13,500 | 18,000 | 22,500 | 27,000 | 31,500 | 36,000 | 40,500 | 45,000 | 49,500 | |
| 資産減耗費 | | 221 | 1,776 | 1,413 | 2,191 | 150 | 0 | 445 | 584 | 584 | 584 | 584 | 584 | 584 | 584 | 584 | 584 | 584 | 584 | |
| 支払利息 | 38,226 | 40,988 | 40,285 | 37,855 | 36,371 | 34,281 | 31,791 | 29,544 | 28,015 | 26,640 | 25,414 | 24,436 | 23,692 | 23,115 | 22,710 | 22,417 | 22,208 | 22,146 | | |
| (内 上水分) | 23,706 | 21,753 | 19,722 | 17,641 | 15,712 | 14,001 | 12,351 | 10,717 | 9,133 | 7,630 | 6,260 | 5,089 | 4,101 | 3,269 | 2,529 | 1,910 | 1,427 | 1,142 | | |
| (内 簡水分) | 14,520 | 19,235 | 20,563 | 20,214 | 20,659 | 20,280 | 19,440 | 18,827 | 17,682 | 16,610 | 15,554 | 14,547 | 13,591 | 12,655 | 11,837 | 11,048 | 10,247 | 9,434 | | |
| (内 新規分) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,200 | 2,400 | 3,600 | 4,800 | 6,000 | 7,191 | 8,344 | 9,459 | 10,534 | 11,570 | | |
| その他費用 | 22,086 | 34,193 | 25,586 | 25,724 | 27,855 | 29,174 | 38,559 | 29,000 | 29,000 | 29,000 | 29,000 | 29,000 | 29,000 | 29,000 | 29,000 | 29,000 | 29,000 | 29,000 | | |
| 計 | 367,052 | 378,313 | 361,913 | 375,578 | 386,419 | 361,755 | 383,244 | 459,895 | 464,120 | 461,238 | 460,976 | 460,837 | 462,197 | 457,436 | 458,810 | 456,510 | 455,773 | 457,411 | | |
| 経常損益 | | +116,856 | +94,901 | +100,386 | +72,836 | +60,453 | +84,360 | +58,791 | +82,536 | +63,321 | +57,030 | +80,366 | +64,859 | +56,702 | +37,905 | +20,209 | +13,356 | +5,922 | -3,230 | |
| 資本的収入 | 企業債 | 165,800 | 154,000 | 143,200 | 210,600 | 68,500 | 63,900 | 70,900 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | |
| | 補助金・交付金 | 74,600 | 70,800 | 51,180 | 91,938 | 32,287 | 33,009 | 32,470 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 他会計補助等 | 29,679 | 36,631 | 45,392 | 68,498 | 125,459 | 126,899 | 140,679 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他資本的収入 | 51,052 | 37,875 | 28,983 | 14,535 | 1,398 | 61 | 25 | | | | | | | | | | | | |
| | 計 | 321,131 | 299,306 | 268,755 | 385,571 | 227,644 | 223,869 | 244,074 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | |
| | 資本的支出 | 建設改良費 | 268,969 | 275,931 | 228,801 | 336,037 | 122,594 | 162,530 | 284,530 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | 200,000 |
| | | (内 更新分) | | | | | | | | 180,000 | 180,000 | 180,000 | 180,000 | 180,000 | 180,000 | 180,000 | 180,000 | 180,000 | 180,000 | 180,000 |
| | | (内 強靱化分) | | | | | | | | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 |
| | | 元金償還 | 97,256 | 108,654 | 128,089 | 127,829 | 158,722 | 174,667 | 182,316 | 179,002 | 176,549 | 173,610 | 171,094 | 154,739 | 154,870 | 124,113 | 103,080 | 100,834 | 91,412 | 91,198 |
| | | (内 上水分) | 59,744 | 60,982 | 63,252 | 62,135 | 57,590 | 56,480 | 56,741 | 56,791 | 56,309 | 54,372 | 50,497 | 45,563 | 42,005 | 39,409 | 33,637 | 28,655 | 16,446 | 13,393 |
| (内 簡水分) | | 37,512 | 47,672 | 64,837 | 65,694 | 101,132 | 118,187 | 125,575 | 122,211 | 120,240 | 119,238 | 120,597 | 109,176 | 112,865 | 82,833 | 65,664 | 66,453 | 67,254 | 68,067 | |
| (内 新規分) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,871 | 3,779 | 5,726 | 7,712 | 9,738 | | |
| その他支出 | 953 | 2,082 | 49 | 1,053 | 668 | 5,233 | 105 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | | |
| 計 | 367,179 | 386,667 | 356,938 | 464,919 | 281,983 | 342,430 | 466,951 | 380,502 | 378,049 | 375,110 | 372,594 | 356,239 | 356,370 | 325,613 | 304,580 | 302,334 | 292,912 | 292,698 | | |
| 収入が支出に不足する額 | | 46,048 | 87,361 | 88,183 | 79,348 | 54,339 | 118,561 | 222,877 | 320,502 | 318,049 | 315,110 | 312,594 | 296,239 | 296,370 | 265,613 | 244,580 | 242,334 | 232,912 | 232,698 | |
| 補填財源 | 減債積立金 | 59,342 | 59,342 | 59,342 | 59,342 | 59,342 | 59,342 | 59,342 | | | | | | | | | | | | |
| | 建設改良積立金 | 178,136 | 278,136 | 378,136 | 478,136 | 578,136 | 648,136 | 718,136 | | | | | | | | | | | | |
| | 未処分利益剰余金 | 277,203 | 476,366 | 226,012 | 202,757 | 171,147 | 177,770 | 167,138 | 891,170 | 832,341 | 769,017 | 733,009 | 699,433 | 660,081 | 628,844 | 603,284 | 572,228 | 543,626 | 508,117 | |
| | その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 514,681 | 813,844 | 663,490 | 740,235 | 808,625 | 885,248 | 944,616 | 891,170 | 832,341 | 769,017 | 733,009 | 699,433 | 660,081 | 628,844 | 603,284 | 572,228 | 543,626 | 508,117 | | |
| 債務残高 | 上水分 | 797,936 | 751,688 | 701,031 | 648,931 | 595,337 | 540,197 | 483,456 | 426,666 | 370,356 | 315,984 | 265,487 | 219,924 | 177,919 | 138,511 | 104,874 | 76,218 | 59,773 | 46,380 | |
| | 簡水分 | 856,744 | 1,374,363 | 1,700,745 | 1,779,799 | 1,956,544 | 1,906,902 | 1,841,712 | 1,790,401 | 1,670,161 | 1,550,923 | 1,430,326 | 1,321,151 | 1,208,286 | 1,125,453 | 1,059,789 | 993,336 | 926,082 | 858,015 | |
| | 新規分 | | | | | | | | 0 | 60,000 | 120,000 | 180,000 | 240,000 | 300,000 | 358,129 | 414,350 | 468,624 | 520,912 | 571,174 | |
| 計 | 1,654,680 | 2,126,051 | 2,401,776 | 2,428,730 | 2,551,881 | 2,447,099 | 2,325,168 | 2,217,067 | 2,100,517 | 1,986,907 | 1,875,813 | 1,781,075 | 1,686,205 | 1,622,093 | 1,579,013 | 1,538,178 | 1,506,767 | 1,475,569 | | |
| 供給単価 | | 136.6 | 137.5 | 138.2 | 137.8 | 138.4 | 144.9 | 147.4 | 146.8 | 146.8 | 146.9 | 158.0 | 158.1 | 158.2 | 158.2 | 158.2 | 158.3 | 158.4 | 158.4 | |
| 給水原価 | | 114.9 | 120.4 | 115.0 | 120.8 | 126.6 | 121.5 | 131.9 | 160.5 | 165.1 | 167.3 | 170.0 | 173.7 | 177.6 | 179.2 | 182.7 | 185.9 | 189.2 | 193.5 | |
| 料金回収率 | | 119% | 114% | 120% | 114% | 109% | 119% | 112% | 91% | 89% | 88% | 93% | 91% | 89% | 88% | 87% | 85% | 84% | 82% | |